

# 天川村男女共同参画等計画

～男女がともに自分らしさを生かせる村を目指して～

令和2年3月  
天川村

# 目次・はじめに

## 【目次】

• はじめに	P. 1
• 天川村の基本情報	P. 2
• 天川村の男女共同参画の現状	P. 3
• 天川村の「魅力と課題」分析	P. 4
• 計画の理念と目標	P. 5
• 重点目標と施策の方向性	P. 6
• 計画の推進体制	P. 7
(参考資料)	
1. 計画策定の経緯	P. 9
2. 計画策定会議での主なご意見	P. 10
3. 村民アンケート結果	P. 11

## －はじめに－

天川村を取り巻く環境は、過疎化・少子高齢化の進行にともない、家族形態や地域との関わり方の変化、また、定住促進による移住者の増加等、著しく変化しています。

そのような環境の中、特に深刻な人口減少問題への対策として、多様な生き方の人々を受け入れる「男女共同参画」の視点を持った村づくりを求められています。

都市部では薄れてきた地域のつながりを活かしつつ、男女が尊重し合い、自分らしく生きることを目指し、「天川村男女共同参画等計画」を定めます。

## 【本計画の位置づけ】

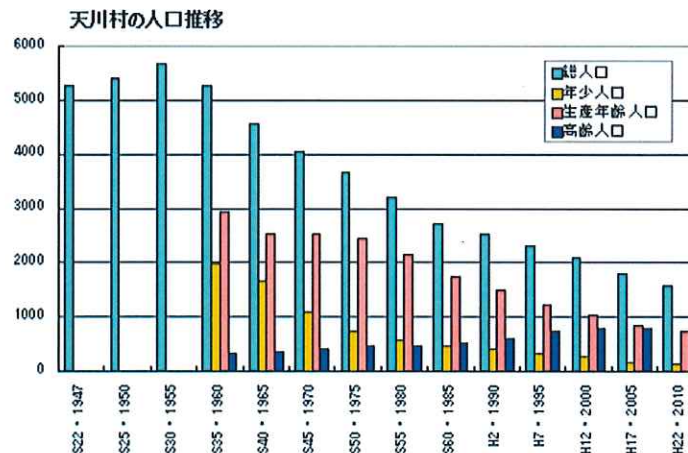
- 本計画は以下3点を一体的に策定するものとします。
  - 「男女共同参画社会基本法」第14条第3項に基づく市町村男女共同参画計画
  - 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」第6条第2項に基づく市町村推進計画
  - 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」第2条の3第3項に基づく市町村基本計画

## 【本計画の期間】

- 本計画の期間は令和2年度～6年度の5年間とします。

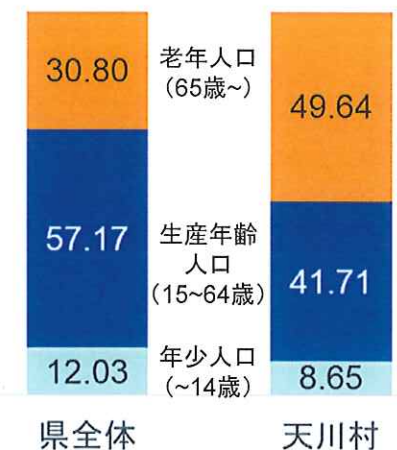
# 天川村の基本情報

- 天川村は昭和30(1955)年に人口ピークを迎え(5,686人)その後減少、平成30年10月時点ではピークのおよそ1/4となる1,422人となりました。また高齢者率は県平均(30.8%)に比べて49.6%(平成30年10月)と高く、県内市町村で8位となっています。
- 人口の男女比は男性47.7%(670名)、女性52.3%(734名)(平成31年4月)で平成30年度の転入者は48人です。
- 天川村は世界遺産エリアの一角である大峯山を初め洞川温泉、天ノ川など観光資源が豊富なことから、近年は観光業を中心とした第3次産業に従事する人の割合が多くなっています。(1970年37.9%→2010年77.1%(国勢調査))



天川村人口ビジョン(H27)より

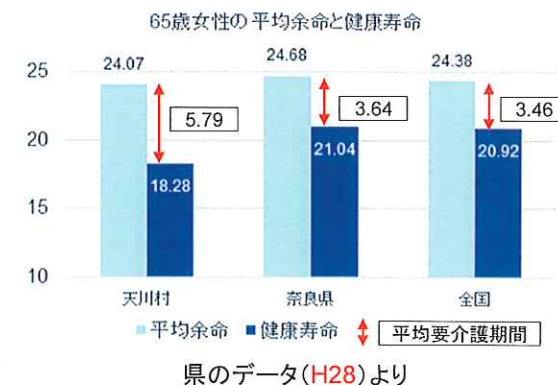
3区分別人口の割合(県・村比較)



奈良県推計人口年報(H30.10.1時点)

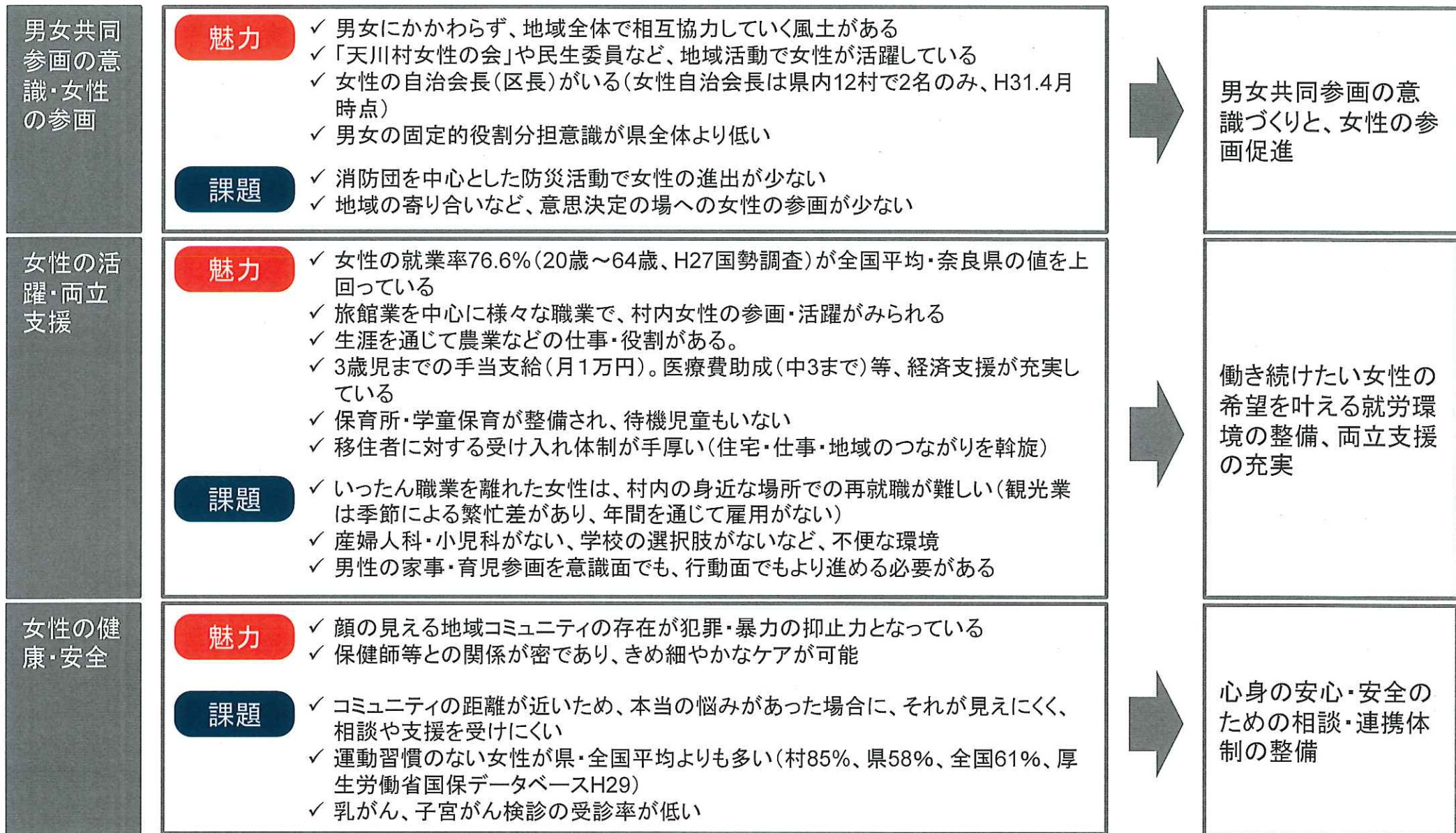
# 天川村の男女共同参画の現状について

- 奈良県の女性の就業率は62.8%(20歳～64歳、H27国勢調査)ですが、天川村は県や全国平均(69.2%)よりも高い76.6%で、職業生活における女性活躍が進んでいるのが特徴です。
- 就学前の児童数は40人ですが、そのうち村内の保育所の入所者は7人、幼稚園の入園者は23人と、預けて働けている方も多いと推定されます。(平成31年4月時点)
- 地域活動においても女性団体が年間を通じて活動されている一方で、村議会議員や役場の管理職(課長級以上)には女性がおらず(平成31年4月時点)、意思決定の場への女性の進出は進んでいないのが現状です。
- また、女人禁制となっている大峯山については過去から様々な議論がありました。
- 「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という固定的性別役割分担意識は県では、男性52.8%女性48.2%が肯定的(H26、県調査)ですが、村の調査結果(R元年度)では、男性24.2%女性29.2%が肯定的と県より低い結果が出ています。
- 都市部に比べ、近隣の人々と顔が見える昔ながらの地域コミュニティが多く存在していることから、高齢者や子どもを見守り、男女を問わずに地域で相互に協力し合う風土が残っています。
- 女性の健康寿命は**83.28歳**で、県平均よりも**2.76歳**短くなっています。(平成28年)



# 天川村の「魅力と課題」分析

➤ 住民のご意見や各種データ分析等から検討を重ね、天川村の魅力と課題を整理しました。



# 計画の理念と目標

- 村の「魅力と課題」を踏まえて、以下のとおり基本理念と基本目標を定めます。

## 基本理念

男女がともに尊重しあい、  
だれもが自分らしさを生かせる村づくり

## 基本目標

1

みんなで学ぼう、考えよう 男女共同参画のこと

村民一人ひとりが男女共同参画の視点に触れ、考え、実行できる村づくりを行います。

2

男女がともに自立して生きがいをもとう

多様性を認め合い、村民全員が性別にかかわらず自らの希望する道を選ぶことができ、生きがいを持って住み続けられる村を目指します。

3

だれもが安全で安心な村づくり

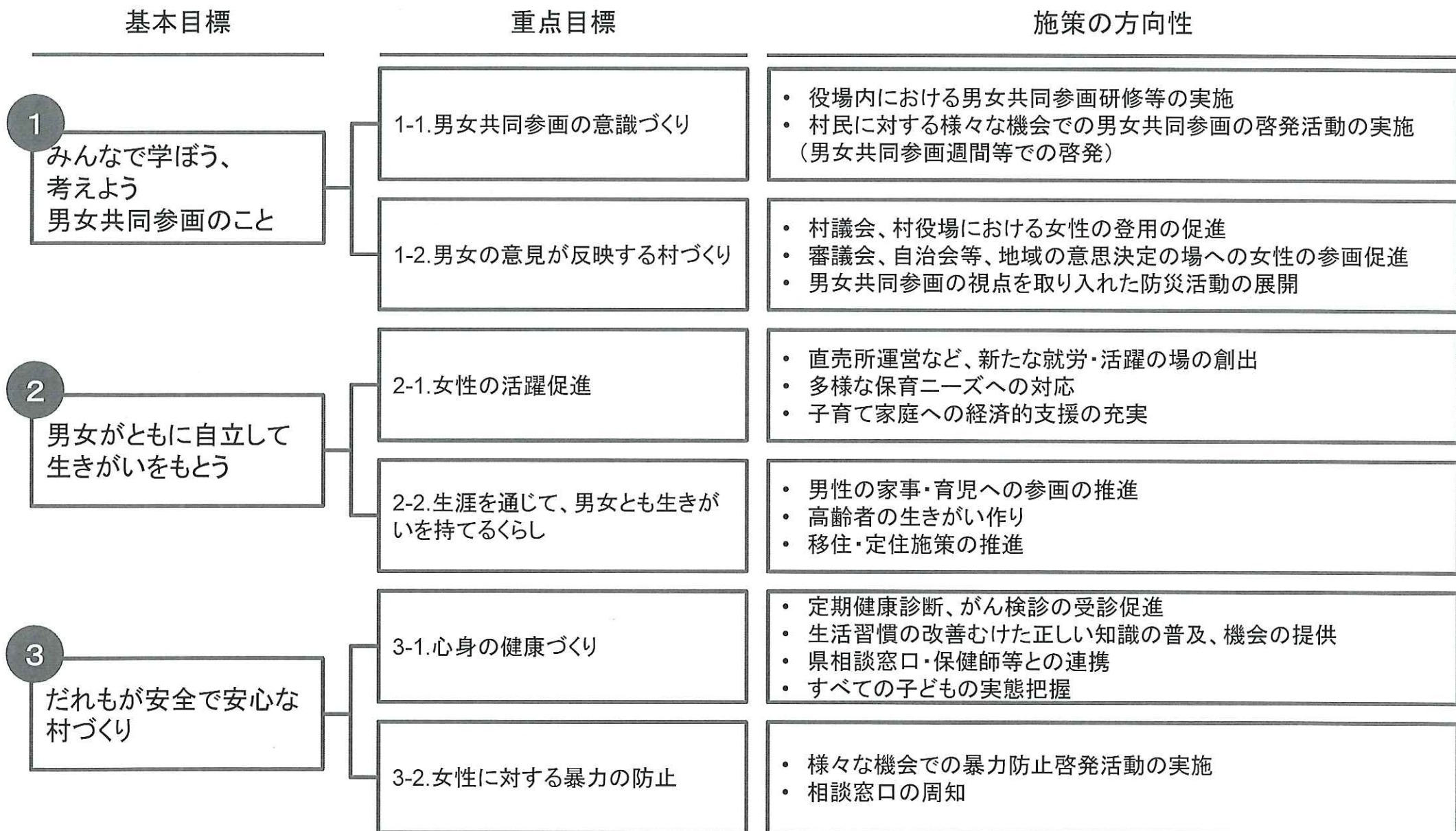
男女共同参画の視点から、村民が心身共に健康な村づくりを進めます。

## 数値目標

固定的性別役割分担意識に肯定的な人の割合を減らす

# 重点目標と施策の方向性

➤ 目標達成に向けた施策の方向性は以下のとおりです。



# 計画の推進体制

## 【役場内の推進体制】

- 役場内の職員一人ひとりが男女共同参画の理念を認識することに努め、推進体制を明確にします。また、役場内での連携を図り、男女共同参画に関する施策の推進を図ります。

## 【村民との連携体制づくり】

- 積極的に広報・啓発活動を実施し、事業者・関係機関・各種団体等・村民との連携及び協力体制づくりに努めます。





# 参考資料

1. 計画策定の経緯
2. 計画策定会議での主なご意見
3. 村民アンケート結果

# 参考資料1 計画策定の経緯

- 本計画は、奈良県が実施する「地域に身近な男女共同参画計画策定支援事業」の一環として、村・県・有識者が協力して策定に当たりました。

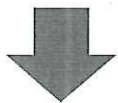
キックオフミーティング  
(6月12日(水))

- 村職員と県職員と有識者が集まり、計画策定の目的や進め方を共有  
(出席有識者:音田昌子氏・梅田直美氏(奈良県男女共同参画県民会議委員))



中間検討会  
(8月8日(木))

- 村の魅力や課題を調査(天川村人口ビジョン、村民アンケート結果、各種統計データ等から)
- 計画に盛り込むべき項目の検討を開始



計画策定会議  
(10月2日(水))

- 村民アンケート調査の実施
- 計画素案作成
- 計画素案について、村民代表を含めた検討  
(出席有識者:梅田直美氏)

## 【計画策定会議メンバー】

- 中越区長 樋口 潤子
  - 北小原区長 植村 正和
  - 女性の会 副会長 平 恵子
  - 集落支援員 幸家 恭子
  - 地域おこし協力隊 山端 聡
- 事務局:天川村住民課



計画の完成  
(〇月〇日)

- 村民の意見とりまとめ
- 計画案の作成

## 参考資料2 計画策定会議での主なご意見

- この会議に呼ばれたことで男女共同参画について勉強した。
- 最近では区の集まりでも男女協力する流れを感じる。
- 村は顔が見える関係があるから安心して子育てできる。逆につながりが強いため、役場に悩みの相談などはしにくい。
- 民生委員には女性が多い。逆に防災活動の女性の進出は進んでいない。(昼間家にいるのは女性が多いが、火事の際にうまく消火活動ができなかった)
- 計画を策定することで「村がどう良くなるか」を伝えることが、村民の関心を持たせるためには必要。
- 「男女共同参画」をとっつきやすい名前にするだけでも村民に広がる。

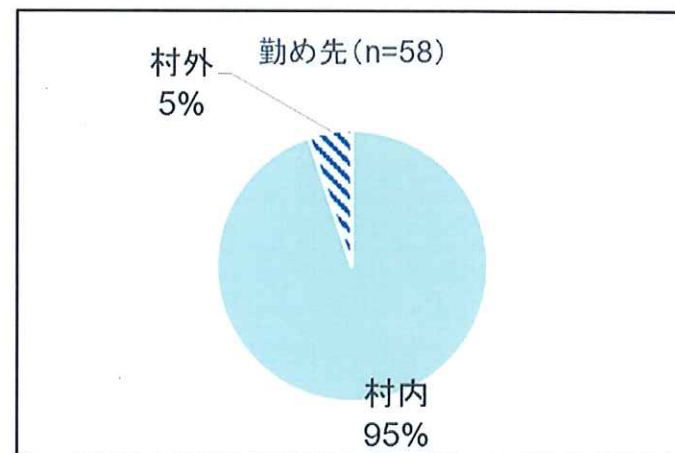
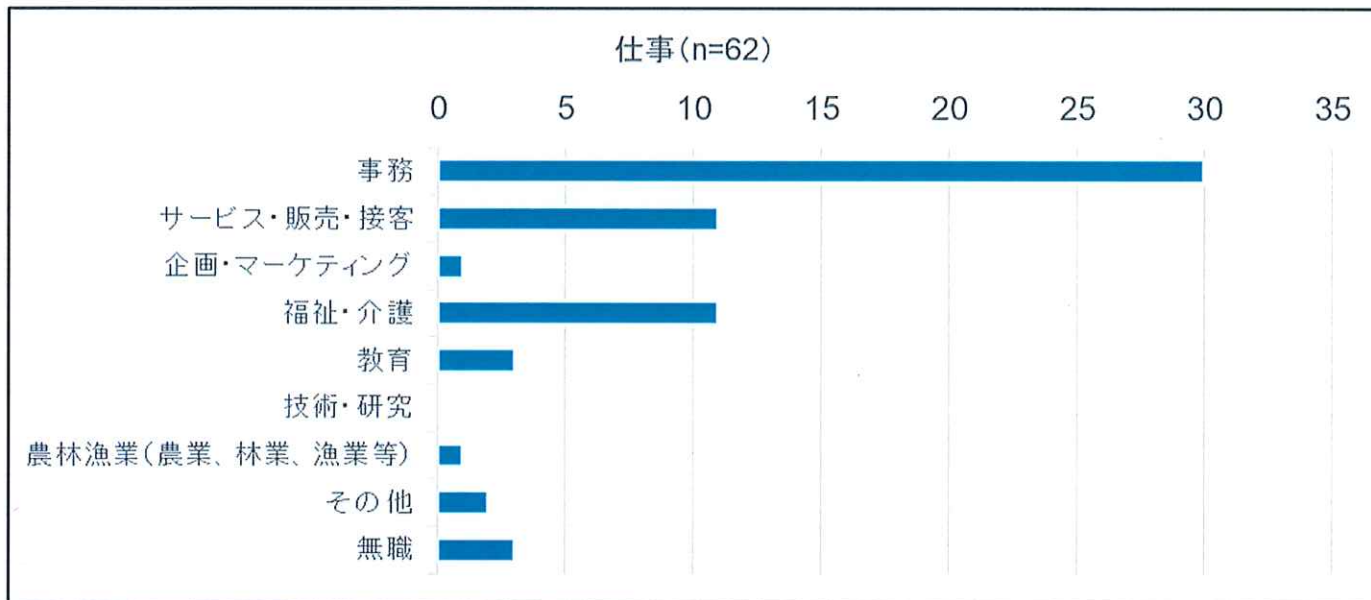
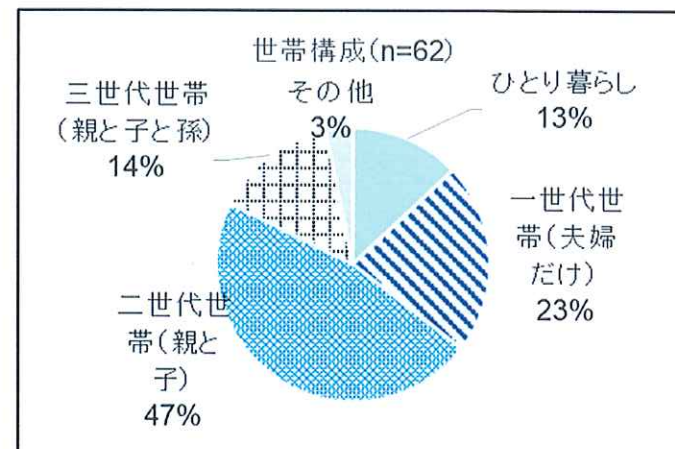
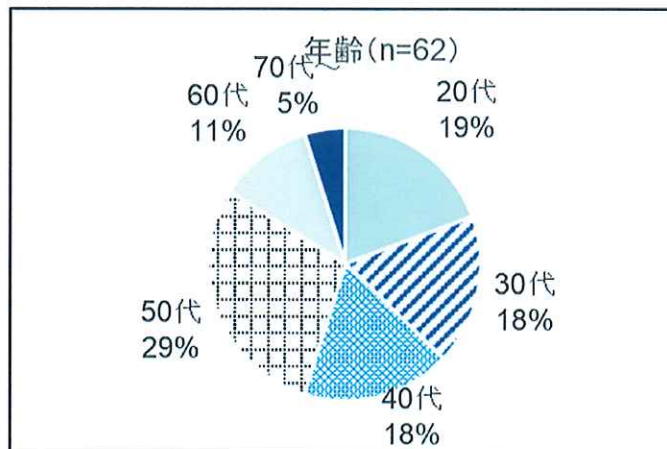
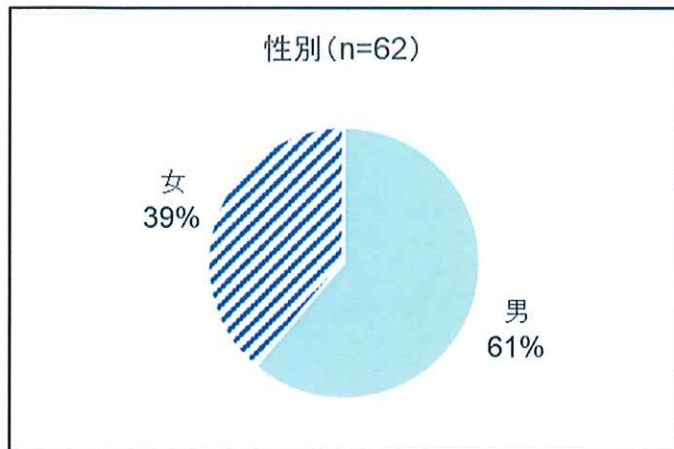
令和元年10月2日(水) 13:00~14:30  
天川村役場 202会議室



<計画策定会議の様子>

# 参考資料3 村民アンケート結果(1/3)

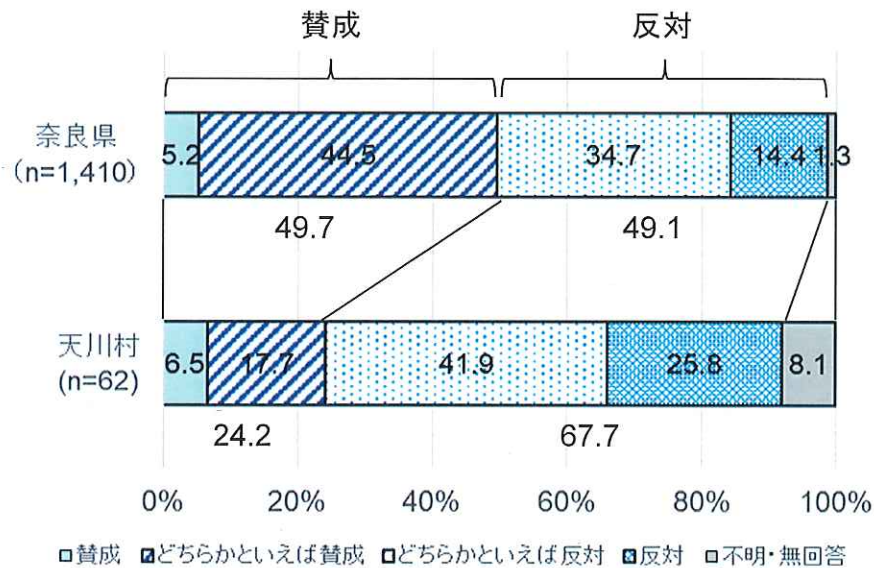
- 村役場職員、村役場住民課窓口利用者(村民)、ほほえみポート利用者(窓口)へアンケート(令和元年8~9月実施)
- 62名より回答(役場職員29、窓口利用者33)



# 参考資料3 村民アンケート結果(2/3)

➤ 固定的性別役割分担意識を持つ人は男女とも奈良県全体よりも低い

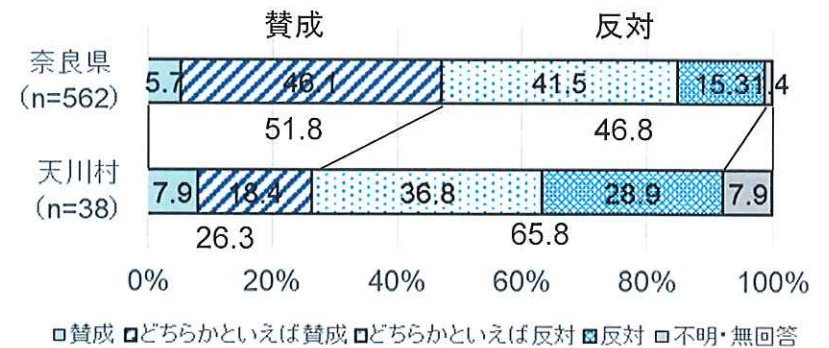
固定的性別役割分担意識(男女計)



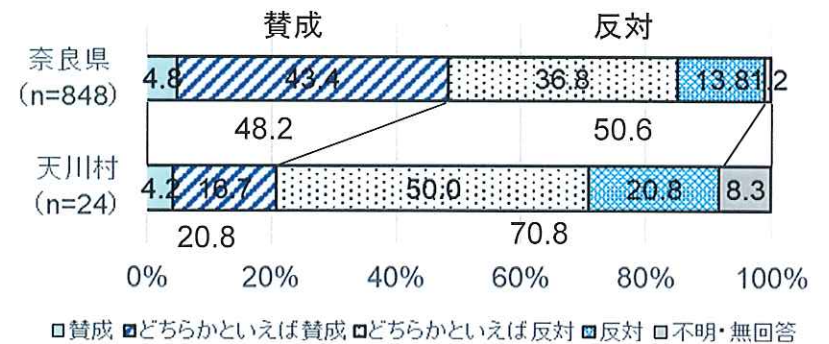
※奈良県:H26女性の社会参画に関する意識調査の結果

(四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある)

男性



女性



# 参考資料3 村民アンケート結果(3/3)

- 家事・育児は女性の役割と考える人が多く、実態もそのようになっている。
- 看護・介護については男女ともで担うべきと考える人が多いが、実態としては女性が担っている場合が多い。
- 自治会・町内会・学校関係の役員は男性の役割と考える人が多く、実態も男性が多いが、一部で女性が担っている場合もある。

